

適用基準及び参考文献

1. 道路土工擁壁工指針 H24年7月、H11年3月 日本道路協会
2. 道路橋示方書・同解説 I 共通編/Ⅲ コンクリート橋編/Ⅳ 下部構造編、V 耐震設計編 H24年3月 日本道路協会
3. 落石対策便覧 H29年12月 日本道路協会
4. 設計要領 第2集-擁壁編-H28年8月、橋梁建設編-H25年7月、H18年4月、-カルバート編-H28年8月、H18年4月 東・中・西日本高速道路
5. 土木構造物標準設計 第2巻 解説書(擁壁類)H12年9月 全日本建設技術協会
6. 杭基礎設計便覧 H27年3月 日本道路協会
7. 土地改良事業計画設計基準及び運用・解説設計「水路工」基準・基準の運用・基準及び運用の解説 平成26年3月 農林水産省農村振興局整備部設計課、土地改良事業計画設計基準設計「農道」基準書・技術書 H17年3月、「水路工」基準書・技術書 H13年2月 農林水産省農村振興局
8. 土地改良事業標準設計図面集「擁壁工」 H11年3月 農林水産省構造改善局
9. 大型ブロック積擁壁設計・施工マニュアルH16年6月 土木学会四国支部
10. 建設省河川防衛技術基準(案) 同解説 設計編(1) H9年10月 日本河川協会
11. もたれ式・ブロック積擁壁の設計と解説 H2年3月 現代理工学出版
12. 続・擁壁の設計法と計算例 H10年10月 理工図書
13. 高知県版 森林土木構造物標準設計(擁壁編) H27年10月 高知県林業振興・環境部治山林道課
14. 森林土木構造物標準設計 擁壁Ⅰ H9年3月 林業土木コンサルタンツ
15. 林道技術基準の解説・参考(浴込版)R3年3月 林野庁
16. 宅地防災マニュアルの解説 第三次改訂版R4年4月、第二次改訂版H19年12月 ぎょうせい
17. コンクリート標準示方書 構造性能照査編H14年3月 土木学会
18. EPS工法 発泡スチロール (EPS) を用いた超軽量盛土工法 H10年8月 理工図書
19. 都市計画法・宅地造成等規制法・開発許可関係実務マニュアルH22年4月 東京都
20. 宅地造成の手引き H28年4月 横浜市建築局
21. 宅地造成等規制法による 宅地造成の手引き H26年2月 札幌市都市局市街地整備部宅地課
22. 宅地造成に関する工事の技術指針 H22年10月 川崎市
23. 宅地造成工事技術指針 H20年4月 名古屋市
24. 京都市開発技術基準 H21年3月 京都市
25. 広島市開発技術基準 H21年4月 広島市
26. 宅地造成工事許可申請の手引き 技術基準編H23年4月 神戸市
27. 擁壁構造設計指針(改訂版) H26年4月 大阪府建築都市部建築指導室
28. 福岡市開発技術マニュアル H28年4月 福岡市
29. 鉄道構造物等設計標準・同解説土留め構造物 H24年1月、基礎構造物 H24年1月、耐震設計 H24年9月 コンクリート構造物 H16年4月 鉄道総合技術研究所
30. 国土交通省 3次元モデル成果物作成要領(案) 令和3年3月
31. 国土交通省 CIM導入ガイドライン(案) 令和2年3月
32. 国土交通省 3次元モデル表記標準(案) 令和2年3月
33. 国土交通省 CAD製図基準 平成29年3月
34. NEXCO CADによる図面作成要領(案) 平成29年9月
35. 土木学会 土木製図基準 平成15年5月

擁壁の設計・3D配筋 (韓国基準版)

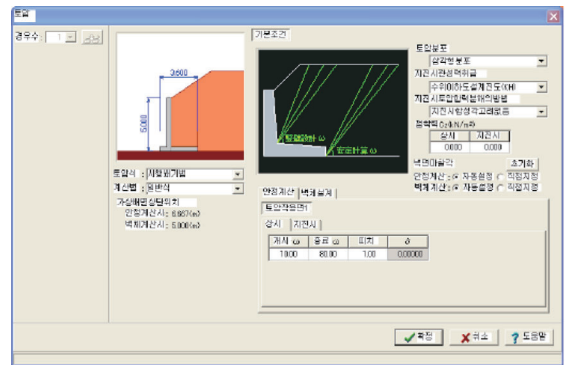
擁壁の設計計算、図面作成
プログラム(韓国基準対応版)

プログラム価格
¥695,200
(税抜¥632,000)

Windows 10/11 対応
計算・CAD統合
3D PDF

韓国基準である「道路橋設計基準」、「コンクリート構造物設計基準」、「構造物基礎設計基準」、「鉄道設計基準」に準拠した設計計算プログラムです。日本版の機能を継承しているため、安定計算、部材の設計からCAD作図も可能となっています。

- 土圧式:ランキン土圧、クーロン土圧、試行くさび土圧、物部岡部式地震時土圧
- 荷重:固定荷重、活荷重(鉄道含む)、水圧、風荷重、衝突荷重、地震荷重、土圧
- 転倒、滑動、支持力に対する安定計算
- 終局耐力に対する断面照査
- 韓国の鉄道設計便覧に準拠し、鉄道荷重を考慮した設計が可能
- 線路中心間隔、軌道荷重、列車活荷重、L荷重など組み合わせ可能
- 擁壁から軌道まで距離に応じた荷重を考慮可能



控え壁式擁壁の設計計算 Ver.9



控え壁式擁壁の安定計算、部材設計を行うプログラム

プログラム価格
¥173,800
(税抜¥158,000)

底版拡張オプション
¥44,000
(税抜¥40,000)

Windows 10/11 対応
3DA対応
電子納品 3D PDF

「土留擁壁・石積の設計と解説」等に示される控え壁式擁壁の設計手法を参考として、安定計算及び部材設計を行います。

- 形状タイプ:逆T型、L型、天端形状:前面突起、背面突起、前面張出、波返し工
- 二点折れ切土土圧に対応
- 逆L型支え壁式擁壁に対応
- ボーリング交換用データインポート対応

【「擁壁の設計」で不可能な照査】

- 安定計算:奥行方向の幅を考慮した全幅当りの照査
- 壁脚の設計:壁脚と控え壁とで支えられたスパンを連続版としてみなして設計、控え壁より上方部分は、通常の擁壁と同様に片持ち梁として設計
- かかと版の設計:かかと版と控え壁とで支えられたスパンを連続版としてみなして設計、控え壁より後方部分は、通常の擁壁と同様に片持ち梁として設計
- 控え壁の設計:壁脚と控え壁、かかと版と控え壁で形成されるT形梁として照査
- 接合部の照査:壁脚と控え壁、かかと版と控え壁の各接合部の鉄筋量照査、各部材の照査位置は、連続梁・控え壁、片持ち梁毎の個別指定が可能

【底版拡張オプション】

- 杭基礎時・直接基礎時の平板解析が可能
- Engineer's Studio®の平板解析を用いて前壁及び控え壁を固定辺としたモデル化を行い材料線形として解析

Ver.9 改訂内容

2022年12月23日リリース

1. 宅地防災マニュアル(令和4年2月版)に対応
2. 64bitに対応

▼メイン画面

